

『グッドフェローズ』 原題 <i>Goodfellas</i> 1990年		執筆：清水 純子
制作国	アメリカ	
スタッフ&キャスト (監督、脚本家、俳優、その他)	<p>スタッフ：製作総指揮 バーバラ・デ・フィーナ/ 製作 アーウィン・ウィンクラー / 監督・脚本：マーティン・スコセッシ/ 原作・脚本：ニコラス・ピレッジ/</p> <p>キャスト：レイ・リオッタ：ヘンリー・ヒル / ロバート・デ・ニーロ：ジェームズ・“ジミー”・コンウェイ/ ジョー・ペシ：トミー・デヴィート/ロレイン・ブラッコ：カレン・ヒル/ ポール・ソルヴィノ：ポール・“ポーリー”・シセロ/ フランク・シベロ：フランキー・カーボーン / マイク・スター：フレンチー /</p>	
画像		
カラー・モノクロ	カラー	
時間	146分	
ストーリー	<p>ヘンリー・ヒルはニューヨークのブルックリンの貧困家庭で生まれ、アイルランド人の父が早世したため、シシリー出身の母と幼い弟たちを養っていた。大統領よりもワイズ・ガイ(ギャング)になることにあこがれ、幼少時から悪事に手を染めた。半血のユダヤ系を妻に娶った後、ルフトハンザ強奪事件や麻薬密売にかかわり、一時は羽振りがよかったが、FBIに逮捕される。アメリカ合衆国司法省組織犯罪撲滅班と取引し、仲間を売って証人保護制度下で生きながらえる凡人を自覚する。</p>	
時代設定	映画の進行順：1970年、1955年、1963年、1970年、1980年～1989年	
場所	ニューヨーク、ブルックリン、アイドルワイルド空港、クィーンズ、ピッツバーグ。	
社会背景	違法な麻薬取引によって利を得るギャング、銃社会アメリカの残虐犯罪の頻発。	
	犯罪者との司法取引の実態。	
文化的背景	血族関係重視のアメリカン・マフィア、純潔のシシリー人のみが幹部になるマフィア組織、邪魔者は無言で殺害するマフィアの残虐と冷酷、マフィア構成員はイタリア系の他はアイルランド、スコットランド、ユダヤ系などのWASP以外の人種で貧困家庭出身。	
使用言語	英語(スラングもあるが比較的わかりやすい)	
テーマ	金作りのために動くギャング活動の現実の提示、実在の人物ヘンリー・ヒルの	

	マフィア人生の興亡、不法な生き方をする者は最後には罰せられる。
みどころ	ギャングにあこがれた少年が犯罪によって贅沢を満喫するが、結局は命惜しさに警察に頼って負け犬になる。勸善懲悪が機能した実例。
印象深いせりふ	HENRY: As far back as I can remember, I always wanted to be a gangster. HENRY: We ran everything. We paid off lawyers. We paid off cops. Everybody had their hands out. And now it's all over. . . . I'm an average nobody. I get to live the rest of my life like a schnook.
授業教材用 メリット	ギャング映画であるにもかかわらず、比較的わかりやすい英語、実話であるためアメリカのギャング志願者の民族、階級、居住環境（NYのアストリア地区、クィーンズ地区）がわかる、暴力肯定ではなくギャングは最後には司法によって裁かれることが明示。
授業教材用 デメリット	理不尽な殺しの場面が多い、暴力とドラッグが頻繁に出てくる、犯罪者が警察との取引によって守られるアメリカの現実が露見、50年代から70年代の人気ロックナンバーがバックグラウンド・ミュージックとして聞ける。
映像入手元	ワーナー・ホーム・ビデオ（DVD/ Blu-ray）
原作の有無	ニコラス・ビレッジ著『ワイズ・ガイーわが憧れのマフィア人生』
支持反応	Metacritic 評価（批評家 89、観客 9.2） Rotten Tomatoes 評価（批評家 97、観客 97）
キーワード	ブルックリン、貧困、アイルランド、シシリー、ギャング、ユダヤ、ルフトハンザ強奪事件、麻薬密売、FBI、犯罪、証人保護制度、殺人、少年、贅沢、勸善懲悪、ファミリー、血縁、民族。

Copyright © Junko Shimizu All Rights Reserved.

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します。

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します。